天草イラストマップ

平野万里　太田正雄（木下杢太郎）　与謝野寛（鉄幹）　北原白秋　吉井勇

白秋とともに泊りし天草の、天江の宿は、伴天連の宿。

『五足の靴』のひとり吉井勇の歌碑が大江教会の木陰に立っている。北原白秋は、処女詩集『邪宗門』に、太田正雄（木下杢太郎）は、『天草組』に、異国情緒あふれる天草の旅を、詩に残し、天草を世に紹介した。

海にうかぶ博物館あまくさ

太古の記憶をとどめた大地からなる天草諸島。海と島とがつくり出す雄大な風景、そしてそこに息づく生き物たち。ここは、私たちが自然の魅力に溶け込み、いやしを得られる場所。

天草の歴史

「島原・天草一揆」は、世にキリシタンの反乱と伝えられているが、実は幕藩体制下の悪政と重い年貢に対する農民一揆でもあった。後に天草の初代代官として富岡に着任した鈴木重成は、年貢の軽減を幕府に嘆願し天草の安寧を訴えたと伝えられる。

島原・天草一揆のとき天草と島原のキリシタン一揆勢が出会い面談した島。
高山右近聖遺骨の地ともいわれる。

天草五橋

<小西行長>
堺の豪商小西隆佐の子。キリシタン大名だった。

天草は、天草、大矢野、志岐、上津浦、栖本の豪族「天草五人衆」が割拠していた。中世には、いずれも海に進出し、外来文化にふれた。一五九一年には、天草学林（コレジョ）が開かれてもいる。

宇土は、小西行長に築き上げられた、鶴の城とも呼ばれた宇土城のこと。城の守護は、熊本城宇土櫓として残されている。

不知火は誰も知らぬ火竜燈とも呼ばれる火の国の怪火は、旧暦八月一日（八朔）の未明、不知火海にあらわれる奇観である。

新幹線各駅から天草へのルート

- 熊本駅～まあくさみすみ線で約50分～三角駅～徒歩約5分～三角港～船で約20分～松島港～バスで約54分～本渡バスセンター
- 熊本駅～車で約120分～バス（快速まあくさ号）で142分～本渡バスセンター
- 出水駅～シャトルバスで約65分～蔚之元港～船で約30分～牛深港

クルマでの標準所要時間

シャトルバス（熊本空港～熊本駅）の所要時間は、47分

■上天草市大矢野町から天草市牛深町約1をとおるルートが最も近くなるルートです。ただ、道は狭く、風景街道に登録された最高のドライブルートです。

■宇土半島から天草へのルートは国道57号線から天草五橋を走るのが定番ですが、九州自動車道松橋ICから国道266号線をたどるコースもいいものです。

■島原半島からの船の運航は、口之津港～鬼池港のフェリー、長崎半島から、蔚之元港～牛深港間、鵜瀬港～中田港間を結ぶフェリーが便利です。

■熊本空港～福岡空港から天草市までの空の旅とも時間的に最も高速です。

●車での移動時間の基点

詳細は天草宝島観光協会ホームページをチェック!!

問合せ先／一般社団法人 天草宝島観光協会 ☎0969-22-2243
〒863-0023 天草市中央新町15-7　https://www.t-island.jp/
協力／（一社）天草四郎観光協会　上天草市大矢野町中11582-24　☎0964-56-5602
あまくさ苓北観光協会観光室内所　苓北町富岡2711-47　☎0969-31-1136

（2023年1月改定）